

編修趣意書

教育基本法との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
31-88	中学校	国語科	国語	第2学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	国語 804	国語 2		

1. 編修の基本方針

「言葉は、あなたと世界をつなぎ、
あなた自身の世界を作り上げる。」

次世代を担う子供たちには、予測困難な社会の中でさまざまな変化に積極的に向き合い、他者と協働しながら新しい価値を創り出すことが求められています。この教科書で学ぶ子供たちが、自らの手で未来を切りひらき、人との関わりの中で力強く生き抜いていくための言葉の力と豊かな感性を身につけられるよう、また、確かな力の習得を自分自身が実感し、国語を学ぶ達成感や充実感を味わうことのできるよう、次のことを基底において編修しました。

1 確かな国語の力を育む

—— 何を、何のために、どう学ぶのかを、ひと目でわかる教科書です。

生徒自身が学習の見通しをもち、身につける資質・能力を意識して、主体的に取り組めるようにしました。学習活動を系統的に編成し、インプットとアウトプットを螺旋的に繰り返すことで資質・能力の定着を図ります。

2 語彙力を高め、豊かな感性と論理的思考力を培う

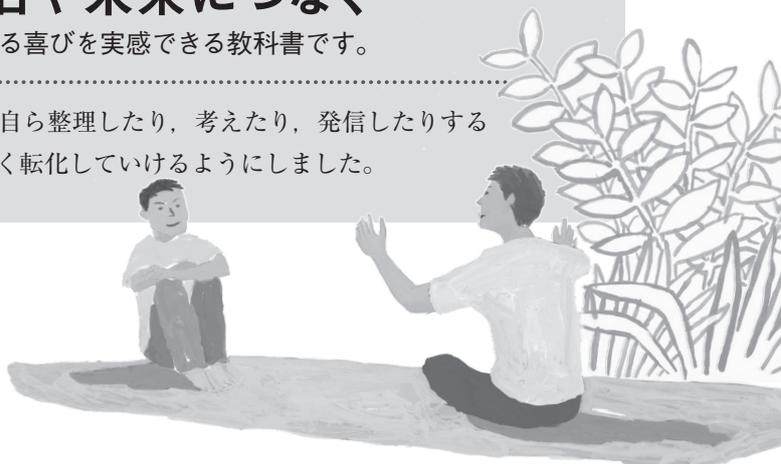
—— 筋道を立てて考え、豊かに感じ、想像するための言葉を育てる教科書です。

生徒が語彙を広げ、語感を磨くことができるよう、優れた作品・文章を多数用意するとともに、論理的思考力や豊かな感性を育み、言語文化への関心を高める教材や資料を随所に設けました。

3 国語の学びを、社会生活や未来につなぐ

—— 言葉を通して、学ぶ楽しさや人とつながる喜びを実感できる教科書です。

国語の学習を教科書や授業の中だけで閉じることなく、自ら整理したり、考えたり、発信したりすることで、身につけた力をさらに強化し、生きる力に大きく転化していけるようにしました。



1

確かな国語の力を育む

—— 何を、何のために、どう学ぶのが、ひと目でわかる教科書です。

「学習」(手引き) 生徒を「主体的・対話的で深い学び」へ誘います。

- 全体を上下2段に整理し、学習の流れを明確にすることで生徒が主体的に取り組めるようにしました。

上段 (学習の流れ)

「見通しをもつ」 何を、何のために学ぶかを把握する。言語活動と〔知識及び技能〕〔思考力、判断力、表現力等〕の目標を掲げました。

学習課題 学習過程に即して主体的に学ぶ。

「捉える」「読み深める」「考えをもつ」という学習過程に即して課題を示しました。個の活動と集団での活動を行き来しながら、多様性の中で主体的に自分の考えを確立できます。

「振り返る」 自己の成長を実感する。

「何ができるようになったか」や自己の変容を意識化する小さな課題を示し、身につけた資質・能力を次の学習に生かせるようにしました。

下段 (支え)

「学習の窓」 汎用性のある学習のポイントを図解。

上段の課題に取り組む際の手がかりとして、また、身につけた資質・能力を領域や教科を超えて活用する際にも生かれます。

The diagram illustrates the learning process. It starts with '見通しをもつ' (Seeing the Overview), which includes identifying the main text and the author's main idea. This leads to '学習課題' (Learning Tasks), which are divided into '捉える' (Grasping), '読み深める' (Reading Deeply), and '考えをもつ' (Thinking). The '捉える' stage involves identifying the main text and the author's main idea. The '読み深める' stage involves identifying the author's main idea and the main text. The '考えをもつ' stage involves identifying the author's main idea and the main text. The '振り返る' (Reflection) stage involves identifying the author's main idea and the main text. The '学習の窓' (Learning Windows) provide additional support and examples for each stage.

学習 (手引き)

巻頭 「学習の見通しをもとう」

1 年間の国語学習全体を見渡せます。

- 1年間の国語学習の全体像を見渡すことができます。
- それぞれの言語活動を通して、どのような資質・能力を身につけるのが明確に示されています。

The grid provides a comprehensive overview of the 1-year Japanese language learning curriculum. It lists various learning objectives and activities, such as '捉える' (Grasping), '読み深める' (Reading Deeply), and '考えをもつ' (Thinking), and shows how they are integrated into the overall learning process. The grid is organized into columns and rows, with each cell containing specific details about the learning activities and their goals.

「学習の見通しをもとう」

2

語彙力を高め、豊かな感性と論理的思考力を培う

—— 筋道を立てて考え、豊かに感じ、想像するための言葉を育てる教科書です。

「情報整理のレッスン」「思考のレッスン」 多様化する社会に必要な、論理的思考力を育てます。

- 学習指導要領で新設された「情報の扱い方に関する事項」について、見開き2ページで解説するコンパクトな教材を設けました。
- よくある「困った場面」を出発点に、情報を「見える化」したり、「具体と抽象」「意見と根拠」など、情報と情報との関係を理解したりすることの価値をわかりやすく解説しました。
- 「情報の扱い方に関する事項」を的確に理解し、論理的思考力の形成や表現に生かせるよう、1～3年まで系統立てて位置づけました。

The illustration shows four students engaged in a discussion. The dialogue is as follows:
 Student 1: 「他のグループの人はどうかな。」
 Student 2: 「同いグループの友達にきいたら、みんな、ダンスが好きだよって聞いたから。」
 Student 3: 「挙げられた事実には例外はないか」
 Student 4: 「どうして、そう言い切れるの。」
 Student 5: 「ダンスがいちばん盛り上がるから。」
 Student 6: 「主観や思い込みを根拠としていないか」
 Student 7: 「意見」 私たちのクラスは、今年の文化祭で、ダンスに取り組むべきだ。」

「思考のレッスン2 根拠の吟味」より

古典教材、「季節のしおり」

言語文化を楽しむ，豊かな教養を育てます。

〔古典教材〕

- 時代背景を直感的に理解できるビジュアル資料を増設。教材で主として取り上げた部分とは別の場面や章段を教材・資料として採録しました。

〔季節のしおり〕

- 四季の言葉や詩歌を挿絵とともに紹介。生徒の感性を揺さぶるような名文や情緒あふれる言葉を厳選しました。



「枕草子」

「季節のしおり」(春)

「言葉を比べよう」「語彙を豊かに」

知性や感性を支える，語彙力を鍛えます。

〔言葉を比べよう もっと「伝える」表現を目標として〕

- 各学年に，語彙を広げ，語感を磨くことを目的とした教材を系統的に位置づけました。

〔語彙を豊かに〕〔学習で用いる言葉〕

- 教材や「学習の窓」，巻末に，思考や表現の助けとなる言葉をまとめました。



「言葉を比べよう」

巻末資料「語彙を豊かに」

3

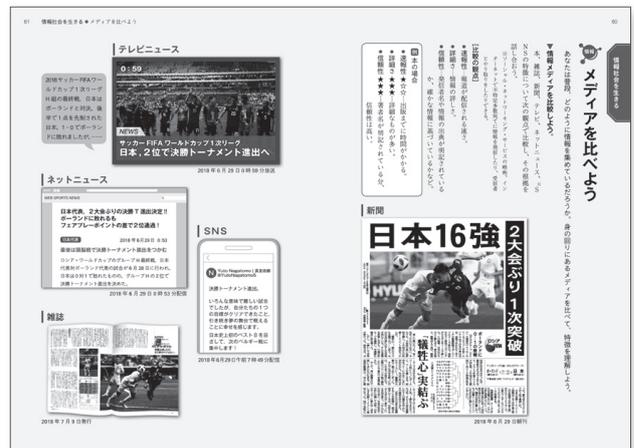
国語の学びを，社会生活や未来につなぐ

—— 言葉を通して，学ぶ楽しさや人とつながる喜びを実感できる教科書です。

「情報社会を生きる」

情報に流されずに自ら考える力を育てます。

- 情報化の進展する社会の中で，情報を疑い，適切に読み解く方法を実践を通して学びます。
- 2年では，多様なメディアを活用した情報収集の方法を身につけ，ジャーナリスト・池上彰氏とニュースを読み解く活動を通して，メディア・リテラシーの大切さを実感できるようにしました。



「情報社会を生きる」

「読書生活を豊かに」「読書に親しむ」

読書を通して学び続ける主体を育てます。

- 読書の価値を実感し，生涯にわたる読書習慣を定着させるために，年間2か所，読書単元を設けました。
- 教科書で完結することなく，確実に本や読み物に手を伸ばしてもらえよう，複数の作品の一部を紹介するなど，教材の示し方を一新しました。時代に合わせ，webによる読書も紹介しています。



「読書生活を豊かに」(左)

「読書に親しむ」(上)

2. 対照表

図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭 「見えないだけ」	・巻頭に詩「見えないだけ」を配しました。言葉が喚起する豊かなイメージに触れ、国語学習への期待を高めるとともに、これから出会う新しい世界やきずなを思い描くことで、豊かな情操と創造性を培います。	前見返し 【第一号】【第二号】
1 広がる学びへ	・幅広い知識と教養を身につけ、真理を求めめる態度を養うことを意図して、小説「アイスプラネット」を位置づけました。世界中を旅する登場人物の姿を通して、広い視野や国を超えて人とつながる力の大切さを伝えます。【第一号】【第五号】 ・伝統と文化を尊重する心と豊かな情操を培うために、年間4か所「季節のしおり」を設けました。2年では人の営みにまつわる言葉や詩歌を紹介しています。また、「枕草子」は冒頭に加え複数の章段を紹介し、資料も加えて充実を図りました。【第一号】【第五号】 ・新しい時代の担い手として主体的に社会の形成に参画し、他者との協働を通してその発展に寄与する人材をはぐむために、情報の整理（視覚化）や分析（比較・分類・関連づけ）の方法を身につける「情報整理のレッスン」を設けました。【第三号】 ・「多様な方法で情報を集めよう」では、職業ガイド作りを通して職業・生活との関連を図り、勤労を重んずる態度を培います。【第二号】	p.14-25 p.27,90,146,194,28-31 p.32-33 p.34-37
2 多様な視点から	・「クマゼミ増加の原因を探る」では、生物と温暖化の関係について仮説・検証で探る過程を示しました。真理を求めめる筆者の態度を通して、科学的なものの見方や考え方を養うとともに、環境の保全に寄与する態度を育てます。【第一号】【第四号】 ・新しい時代の担い手として主体的に社会の形成に参画し、多様な価値観をもつ他者と協働しながら、その発展に寄与する人材をはぐむために、「思考のレッスン」で情報と情報との関連を読み解き、論理的に思考するための基礎を築きます。【第三号】	p.42-51 p.52-53, p.132-133
特設 情報社会を生きる	・情報収集・情報整理の能力を身につけ、日常生活に生かすために、「情報社会を生きる」を特設しました。情報化が進展する社会の中で、情報に流されることなく真摯を見極め、主体的に活用する自主・自律の精神を養います。【第二号】	p.60-66
3 言葉と向き合う	・我が国の短詩型文化の伝統を尊重し、豊かな情操と創造性を培うことを目的に、「短歌に親しむ」「短歌を味わう」を位置づけました。また、言葉に関する幅広い知識と教養を感じ取れるよう、随筆「言葉の力」を位置づけました。【第一号】【第二号】 ・語彙を豊かにすることで、表現力やコミュニケーション能力を高めることを目指し、活動「言葉を比べよう」を設けました。個々の価値を尊重し、敬愛し合いながら協力する態度の礎を築きます。【第二号】【第三号】	p.68-73 p.74-77 p.80-81
特設 読書生活を豊かに	・読書を通して幅広い知識と教養を身につけ、真理を求めめる態度と豊かな情操を培うために、年間2か所に読書単元を設け、読書習慣の確立を目指しました。【第一号】 ・「翻訳作品を読み比べよう」では、「星の王子さま」の翻訳の比較や、翻訳家のコラムを通して、日本や諸外国がはぐんできた言葉や文化への理解を深め、多様性を尊重する国際感覚を育てられるようにしました。【第一号】【第二号】【第三号】 ・「本の世界を広げよう」では、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う「戦争・平和」「文化」、自然や環境の保全に寄与する態度を養う「環境」、社会参画の素地を養う「情報」「言葉」などをテーマに多種多様な書籍を紹介しました。【第三号】【第四号】【第五号】	p.82-89, p.188-193 p.84-86 p.87-89
4 人間のきずな	・豊かな情操を培うため、親子の心の結び付きを描いた小説「盆土産」、随筆「字のない葉書」を位置づけました。【第一号】 ・「聞き上手になろう」では、個人の価値を尊重する態度や他者への敬愛、公共の精神をはぐむために、相手の話を能動的に引き出し傾聴する、対話の力を習得します。【第二号】【第三号】 ・「表現を工夫して書こう」「表現の効果を考える」では、手紙という形式の中で我が国がはぐんできた伝統と文化を継承するとともに、職業や生活に生かせるよう依頼状・礼状の基本やTPOに応じた手紙とメールの使い分けを学びます。【第二号】【第五号】 ・「敬語」の学習を通して道徳心や自他への敬愛、日本の伝統と文化を尊重する態度を養います。【第一号】【第三号】【第五号】	p.92-111 p.112-113 p.114-116 p.117-119
5 論理を捉えて	・幅広い知識と教養を身につけ、真理を求めめる態度を養うとともに、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うために「モアイは語る」を位置づけました。【第一号】【第四号】 ・「根拠の適切さを考えて書こう」「立場を尊重して話し合おう」では、多様な捉え方ができる問題について、それぞれの立場から意見を述べたり、討論したりすることを通して、考えを深める方法を学びます。公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画するための素地を培います。【第二号】【第三号】	p.124-131 p.134-137 p.140-143
6 いにしえの心を訪ねる	・我が国の伝統と文化を愛し、尊重する心を育てるために、ビジュアル資料「源氏と平家」及び「音読を楽しもう 平家物語」を位置づけました。「平家物語」の韻律の美を感じ、その世界観を視覚的に理解できるようにしました。【第五号】 ・伝統と文化を尊重し、それらをはぐんできた我が国と郷土を愛する心を涵養するため、「平家物語」と「徒然草」を取り上げました。また、「漢詩の風景」では、漢詩を通してつながる我が国と中国との文化を考え、尊重する態度を養います。【第五号】	p.148-150 p.151-168
7 価値を語る	・評論「君は『最後の晩餐』を知っているか」及び解説「『最後の晩餐』の新しさ」では、美術作品の評論・解説を比較することを通して、幅広い知識と教養を身につけるとともに、国際理解や文化の保全に寄与する態度を養います。【第一号】【第五号】 ・「魅力を効果的に伝えよう」では、鑑賞文を書く活動を通して、幅広い知識と教養を身につけ、豊かな情操を養います。【第二号】	p.170-183 p.184-185
特設 読書に親しむ	・「研究の現場ようこそ」をテーマに二つの作品を掲載。真理を求めめる筆者の姿や、その柔軟な思考に触れることを通して、豊かな情操と道徳心を培います。【第一号】 ・「本の世界を広げよう」では、日常生活との関連を重視した「食」、職業や勤労についての意識を高める「職業」、公共の精神に基づく「医療・福祉」などをテーマに、多種多様な書籍を紹介しました。【第二号】【第三号】	p.188-190 p.191-193
8 表現を見つめる	・正義と責任、自他への敬愛に思いをいたすために、登場人物の心の葛藤を描いた「走れメロス」を位置づけました。【第三号】 ・「構成や展開を工夫して書こう」では「ある日の自分」を題材に物語を創作することを通して、創造性を培います。【第二号】 ・「国語の学びを振り返ろう」では、国語を学ぶことの価値を再確認することを通して、真理を求め、幅広い知識と教養を身につけることの価値を再認識できるように配慮しました。【第一号】 ・詩「木」を通して、正義と責任、個人の価値の尊重について考え、自主及び自律の精神を養います。【第三号】	p.196-213 p.216-219 p.224-227 p.228-230
巻末 中扉・後見返し	・色を表す伝統的な言葉と、その由来となった四季折々の日本の美を感じさせる風景写真で構成しました。自然の変化をこまやかに感じ取り、言葉で表現してきた、我が国の伝統と文化を愛し、尊重する心を育てます。【第五号】	中扉(p.13他) 後見返し
資料 学習を広げる	・伝統と文化を尊重し、それらをはぐんできた我が国と郷土を愛する心を養うために、「形」「古典の世界を広げる」「古典芸能の世界」「郷土ゆかりの作家・作品」を位置づけました。【第五号】 ・生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うために、「生物が記録する科学」を収録しました。【第四号】 ・豊かな情操と道徳心、自他への敬愛の心を「いろいろな通信文」を通して養います。【第一号】【第三号】 ・「語彙を豊かに」では、語彙を広げることで、他者との関係構築や協力の礎となるコミュニケーション能力を高めます。【第三号】	p.274, 284, 290, 292 p.277 p.272 p.296

3. 上記の記載事項以外に意を用いた点や特色

学習上の参考に供するための資料

- 教科書の中で、「二次元コード (QRコード)」が示された箇所には、話し合いなどの動画資料や作家へのインタビューなど、生徒の興味・関心を高めたり、学習を深めたりできる資料を豊富に収めました。



「君は『最後の晩餐』を知っているか」(筆者インタビュー)

特別支援教育への配慮

ユニバーサルデザイン・カラーユニバーサルデザインの観点から、全ての生徒に使いやすい教科書を目指しました。教科書の全ページについて、専門家の校閲を受けています。

【学習支援上の配慮】

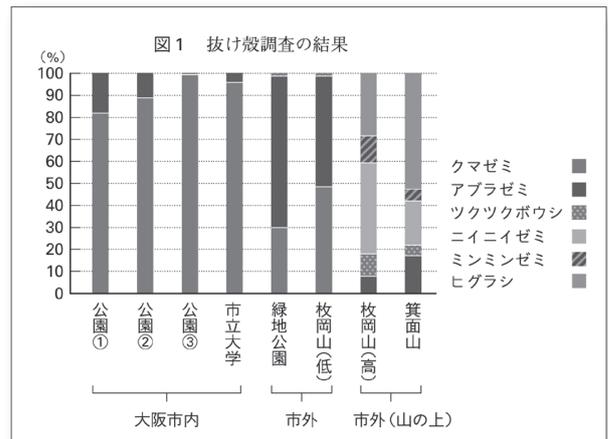
- 学習の流れを把握し、見通しをもつことが生徒の理解を助けます。そこで、「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、最初の見開きで活動の全容が見えるようにしました。また、「読むこと」の「学習」も設問に番号を振り、見出しを立てて、学習のステップをわかりやすく示しました。

【色覚特性への配慮】

- 図表は、色に頼ることなく線の種類や濃淡、地紋でも識別できること、色覚特性により判別しにくくなる色の組み合わせは行わないことなどを基本に作成しました。

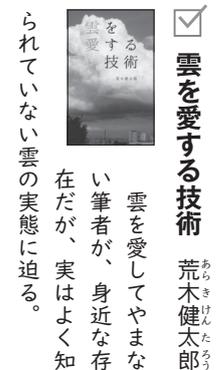
【用字や書体に関する配慮】

- 本文には、教科書のために特にデザインした自社作成の明朝体・ゴシック体を用いています。書体の特徴を損なわない範囲で画数や点画の付き方を調整し、手書き文字との差が学習上の支障とならないように配慮しました。教科書が社会生活へのスムーズな移行を後押しします。
- 漢字の読み仮名や読書案内などの小さな文字は、UD書体で視認性を高めました。



間に野線を入れ、色に頼ることなく濃淡でも識別できるようにしました。

学習上の配慮を施した自社開発フォント



UD書体 (原寸大)

漢字学習への配慮

- 漢字教材や「読むこと」脚注の新出漢字欄など、漢字を学習する場では、点画の書き方や筆使いの見本となるよう、手書き文字に近い自社開発の教科書体を使用しました。
- 脚注の新出漢字欄を一新しました。本文で学習する読みだけでなく、漢字と全ての音訓を示すようにしました。学んだ漢字を他の場面にすぐ応用できる示し方にする事で、漢字の使用頻度を高め、繰り返し活用する中で定着できるようにしました。
- 漢字を習得し、書き慣れる場として、「漢字に親しもう」を新設しました。言葉を補ってことわざや四字熟語を作る課題や、「様子・気持ち」「自然」「学校生活」などに用いる言葉を書く課題など、漢字の習得が語彙力の向上につながるよう工夫しました。



「読むこと」脚注の新出漢字欄

編修趣意書

学習指導要領との対照表，担当授業時数

※受理番号	学校	教科	種目	学年
31-88	中学校	国語科	国語	第2学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	国語 804	国語 2		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 確かな国語の力を育む

—— 何を、何のために、どう学ぶのかが、ひと目でわかる教科書です。

着実に力を育む系統性 「知識及び技能」と「思考力,判断力,表現力等」が関連し合った構成。

- 「知識及び技能」に示された指導事項を確実に押さえ、その力を活用して各領域の言語活動を行うことで、「思考力,判断力,表現力等」を無理なく高めていける構成としました。
- 学年が上がるごとに内容を深めながら、螺旋的に言葉の力を積み重ねていくことで、資質・能力の確実な定着を図ります。



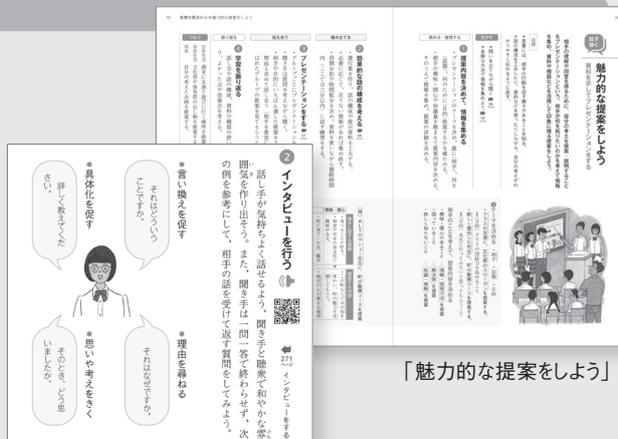
「思考力, 判断力, 表現力等」の教材



「話すこと・聞くこと」教材

コンパクトな構成で、
課題を解決する力をしっかり身につける

- ・生徒たちの「やってみたい」を大切に、多様なテーマ・言語活動を、発達段階を考慮して配列しました。
- ・主たる学習機会は年間6か所。「主体的に聞く力」を重視し、新たに「対話・質問」の系統を、3年間通して位置づけました。
- ・最初の見開きで流れをつかみ、次の見開きで、図解や例を基に学習のポイントを身につける、コンパクトな紙面構成になりました。可視化の方法や話型などを随所に紹介し、実生活に生かせるよう工夫しています。



「魅力的な提案をしよう」

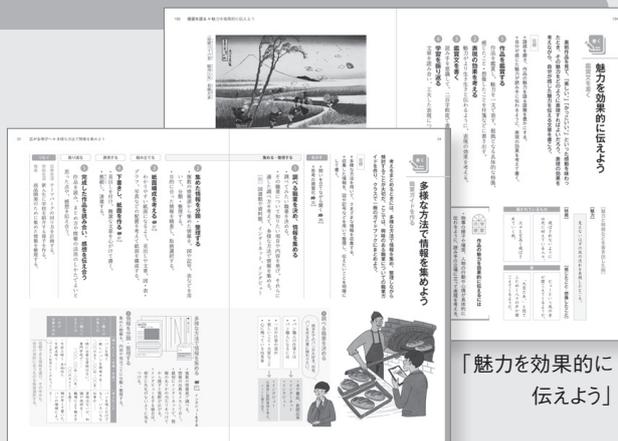
「聞き上手になろう」



「書くこと」教材

情報化社会に対応した書く力を

- ・情報を正確に読み取り、根拠をもって書く力、自分の思いや考えを価値づけながら表現豊かに書く力を身につけるために、多様なテーマ・文種を用意しました。
- ・主たる学習機会は年間8か所。目的に応じて情報を整理してまとめる教材や、物事を評価し、価値を見いだす書く教材など、現代に必要な書く力を意識して教材化しました。
- ・可視化の方法や文型などを随所に紹介し、実生活に生かせるよう工夫しています。



「魅力を効果的に伝えよう」

「多様な方法で情報を集めよう」



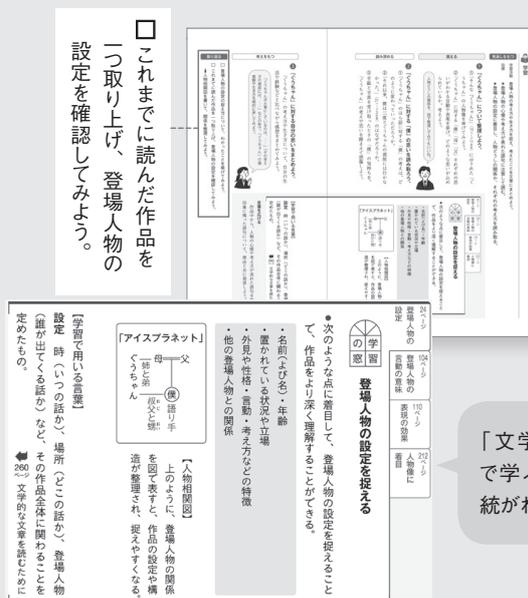
「読むこと」教材

学んだ力を生かす、新しい「学習」(手引き)

- ・「学習」を上下2段に整理し、「見通しをもつ」→「捉える」→「読み深める」→「考えをもつ」→「振り返る」という学習過程を明確に示しました。
- ・下段の「学習の窓」では、年間の系統を把握できるよう、その学年で学ぶ「読むこと」の力を全て示しました。
- ・「振り返る」では、その教材で学んだことを着実に身につけ、日常や他教科に生かせるような問いを設けました。

質の高い「読むこと」教材

- ・文学的な文章は、名作に加え、現代を代表する作家の書きおろしなど、読み応えのある作品を配置しています。人権教育にも十分配慮し、多様な作品を偏りなく選びました。
- ・説明的な文章は、現代社会を生きるのにふさわしい題材を選び、論理的思考のモデルとなる文章を位置づけました。
- ・絵や写真と文章を対応させて読んだり、表などを活用して考えを形成したりまとめたりする学習ができるよう工夫しています。



「文学的な文章で学ぶ力」の系統がわかります。

「アイスプラネット」(学習)

2

語彙力を高め、豊かな感性と論理的思考力を培う

—— 筋道を立てて考え、豊かに感じ、想像するための言葉を育てる教科書です。

「学習の窓」「レッスン」一覧

学習で用いる言葉を自分のものに。

【文学的/説明的な文章を読むために】

- 「読むこと」教材の「学習の窓」に示した「学習で用いる用語」を一覧にし、文学・説明文それぞれの読み方を視覚的に見渡せるページを設けました。

【「思考のレッスン」「情報整理のレッスン」一覧】

- 「情報の扱い方に関する事項」を解説した「思考のレッスン」と「情報整理のレッスン」を、図解とともに一覧にしました。



「思考のレッスン」一覧
(情報と情報との関係)

「学習の窓」一覧
(説明的な文章を読むために)

「色の名前」

言葉に立ち止まるきっかけを。

【色の名前】

- 日本語の豊かさや美しさに触れる場として、各単元の扉に「色の名前」を紹介し、後見返しに一覧にしました。



3

国語の学びを、社会生活や未来につなぐ

—— 言葉を通して、学ぶ楽しさや人とつながる喜びを実感できる教科書です。

「思考の地図」 目的に応じた思考法を使えるように。

- 学習指導要領で新設された「情報の扱い方に関する事項」について、さまざまな場面で使える思考法や可視化の方法を紹介し、他教科や日常生活に広く応用できるようにしました。

社会とつながる多様な工夫 教科書から広がる学びを。

【「達人からのひと言」コーナー】

- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、コピーライターや小説家など、各界で活躍されている方からのアドバイスを掲載し、実社会とのつながりを意識できるようにしました。

【学習を振り返ろう】

- 1年間で身につけた力を確認し、他教科や日常に生かすために、学年の最後に各領域の問題に取り組む場を設けました。

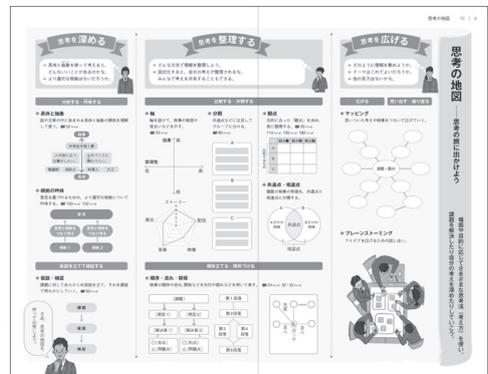
【二次元コード】

- 「二次元コード(QRコード)」には、生徒の興味・関心を高め、主体的・対話的で深い学びにつながる資料を収めています。

【資料「学習を広げる」】

- 巻末「学習を広げる」では、「学習の窓」などの一覧の他、「インタビューをする」「郷土ゆかりの作家・作品」など、国語から他教科や地域学習に広げて活用できる資料を充実させました。

「思考の地図」



達人からのひと言

時系列どおりに並べなくても、書いた後にどうすれば効果的に伝えるかを考えて、順番を入れ替えてもおもしろいと思います。

瀬尾まいこさん(小説家)



「達人からのひと言」



教科書の特徴

編集上の留意点	
1 教育基本法・学習指導要領への対応	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 教育基本法や学校教育法の理念を踏まえ、特に次の点に意を用いました。 <ul style="list-style-type: none"> ①国語力及び学習の基盤的能力の育成、②コミュニケーション能力の育成、③豊かな心の育成、④情報社会を生き抜く力の育成、⑤社会の変化に対応する能力の育成 ◆ 学習指導要領の方向性に対応し、特に次の点を工夫し配慮しました。 <ul style="list-style-type: none"> ①基礎的・基本的な知識・技能と活用力を身につける、②論理的に思考し、判断し、表現する能力を養う、③豊かな情操と道徳心を養う、④伝統的な言語文化を尊重し、国語と郷土を愛する心を育成する、⑤個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、自主・自立の精神を養う、⑥読書に親しみ、生涯にわたって充実した読書生活を送るための基礎を養う、⑦社会の形成者たる生徒を育成する
2 内容と系統	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学習指導要領の各学年の目標及び内容がもれなく指導できるよう、教材を選定・作成しています。 ◆ 各単元・教材のねらいを明確にし、基礎的・基本的な内容が着実に身につけられるよう、学年内・学年間を見通して系統的に位置づけています。 ◆ 学習指導要領に示された言語活動例が、3学年それぞれの段階でもれなく扱えるように、教材を作成・配置しています。
3 配分・配列	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「知識及び技能」に示された内容を確実に押さえ、それを活用して各領域の言語活動を行うことで、「思考力、判断力、表現力等」を無理なく高めていける構成としました。 ◆ 各学年、八つのもたまりで教材を構成しています。もたまりごとの教材数は、発達段階や学習の持続性を考慮し、軽重をつけバランスよく配列しています。 ◆ 3学期制、2学期制のどちらにも対応するよう、教材数・領域のバランスを工夫しています。 ◆ 各学年巻末に、本編の補充学習・発展学習に資するよう、資料となる教材を掲載しています。
4 教材の選定	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 各学年を通じて、発達段階を考慮するとともに、生徒の学習意欲を喚起すること、また、社会の形成者としての生徒を育成するよう、その道徳的心情や道徳的判断力が育つことに配慮して、内容・題材を選定しています。 【入門期】(1年) 小学校との円滑な連携を図れるよう配慮し、中学校生活に慣れるとともに、その学習意欲を大事にすることを考えて教材を選定しました。 【話すこと・聞くこと】 日常・社会生活、学校生活、学習場面など生徒を取り巻く身近な実の場に取材し、「話す・聞く・話し合う」ことの意義が感じられるように、発達段階に即して題材を選んでいます。また、学習活動からその後の振り返りの場に至るまで、意図的・計画的に設定しています。 【書くこと】 学校行事等の関連に配慮しながら、相手・目的の明確な題材とイメージしやすい場を設定することで、書く必然性を感じ、書く意欲が喚起されるよう工夫しています。また、取材から叙述までの表現過程を具体的に図示したり、文型やグラフ例を複数提示したりするなど、わかりやすく示しています。 【読むこと】 生徒の言語環境と発達段階に応じて、言葉の美しさや感得できる教材、家族や友人など他者への思いやりを育てる教材、社会的な認識の広がりや、ものの方・考え方の深まりが得られるような教材、他教科の内容に関連する教材など、幅広い分野から教材を精選しています。 【言葉の特徴や使い方にに関する事項】 生徒の言語生活から素材を取り上げたり、語彙を蓄え語感を磨く教材を設定したりするなど、言葉に関する興味・関心が深まるよう工夫しています。 【情報の扱い方に関する事項】 話や文章に含まれている情報を取り出して整理したり、その関係を捉えたりする能力を身につけられるよう、情報の扱い方に特化した教材を設けました。 【我が国の言語文化に関する事項】先人の遺産としての言語作品を貴重な図版等の資料とともに多く取り上げ、生涯の宝として身につけられるようにしました。
5 地域性への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 話題・題材は、農村・漁村・都市などの地域的な偏りを避けるとともに、国際的視野が育つように、バランスの取れた構成になっています。 ◆ 2年には、47都道府県全ての、郷土ゆかりの作家や作品を紹介する資料を位置づけ、郷土の言語文化への関心を高める工夫をしています。
6 他教科・日常生活等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 他教科などの関連が図れるように、話題・題材の選定において工夫しています。 【理科】「クマゼミ増加の原因を探る」「研究の現場にようこそ」 【外国語】「翻訳作品を読み比べよう」 【技術・家庭】「メディアを比べよう」 【社会】「自分で考える時間」をもとに 【美術】「君は「最後の晚餐」を知っているか」「最後の晚餐」の新しいさ 【学校行事】「多様な方法で情報を集めよう(職業ガイド)」 など ◆ 学習活動面においても、他教科の学習で活用できるよう配慮しています。 「魅力的な提案をしよう(プレゼンテーション)」「メディアの特徴を生かして情報を集めよう」「聞き上手になろう」「表現を工夫して書こう(手紙・電子メール)」など
7 情報活用・ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 全学年に、特設「情報社会を生きる」を位置づけ、情報の収集や発信、メディアリテラシーを系統的に学べるよう配慮しています。 ◆ 「二次元コード(QRコード)」が示してある場所には、生徒が学習を進める中で参考となり、さらに興味・関心をもって学べる資料を収めています。
8 文字提出・表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「読むこと」の新出漢字欄は、本文で学習する読みだけでなく、漢字と全ての音訓を示す形にし、学んだ漢字を他の場面にすぐ応用できるようにしました。 また、小学校6年生で学んだ漢字やテーマ別に漢字を学ぶ場も工夫しています。1教材での提出数は制限し、過重な負担とならないよう配慮しています。 ◆ 表記・表現の基準は全学年にわたって統一し、適切な表記が身につくよう配慮しています。
9 挿絵・写真・図・グラフなど	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学習内容の理解を助け、イメージを豊かに広げる挿絵・写真を適所に掲げています。 ◆ 巻頭「思考の地図」や「情報整理のレッスン」、「話す・聞く」「書く」教材や、「読む」教材の手引きに、多様な表、グラフ、マップなどを配し、考えを可視化したり形成したりする技法として活用できるように工夫しています。 ◆ 非連続テキストの読み取りの学習に生かすことのできる教材を随所に設けました。(「クマゼミ増加の原因を探る」など)
10 製本・印刷・活字など	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 製本は堅牢で、印刷は鮮明で読みやすく、特に、色覚特性に対応するために、配色・色調にも配慮しています。 ◆ 原料や製法についても、十分に配慮しました。環境に負荷の少ない用紙、植物油インキを用いています。 ◆ 本文には、教科書のために特にデザインした自作作成の明朝体・ゴシック体を用いています。また、漢字の教材や新出漢字欄など、漢字の読み書きを学習する場では、点画の書き方や筆使いの図本となるよう、手書き文字に近い、自社開発の教科書体を使用しました。 ◆ 字詰め・行詰めは、生徒の発達段階や可読性を考慮し、読みやすくデザインしています。 ◆ 漢字の読み仮名や読書案内などの小さな文字は、読みやすいUD書体を使用しています。
11 特別支援教育への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学習上支援が必要な生徒のために、またユニバーサルデザインに対応した教科書作りという観点から、特に以下の点に配慮しています。 <ul style="list-style-type: none"> ・情報のまとまりが認識しやすいように、各領域の教材名や覚えておきたい知識などは、アイコン・マークを付けて示す。 また、グラフの中の領域を線で分けたり、図書の周りを線で囲んだりして明確に区別できるようにする。(「本の世界を広げよう」など) ・色覚特性に配慮して、色に頼ることなく、形や線の種類、濃淡、地紋などで識別できるように作成する。また、色を問いとする学習活動を設定しない。説明の際は、色以外の情報も合わせて示すなどして教材化を図る。(「クマゼミ増加の原因を探る」など)
12 小学校との連携、高等学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学校生活への不安をなくし、明るくスタートできるよう、1年の第1教材に入る前に、小学校での既習事項を確認できる「言葉に出会うために」を設けています。また、中学校での学習を進めていく中でも、いつでも戻って基礎・基本を確認できる場として活用できるよう工夫しています。 ◆ 3年では、高校で出会うような作家・評論家の文章や古典作品を紹介したり、小論文や文語文法(発展)を扱ったりして、連携に配慮しています。
13 その他の配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> 【学習を振り返って生かす場】 ◆ 各学年の終わりに、年間でつけた力を使って各領域の問題に取り組む「学習を振り返ろう」を設けました。自分の力を確認するとともに、ここで身につけた力や考えたことが他教科や日常生活で生かせるよう配慮しました。 【学習過程の重視】 ◆ 「思考力、判断力、表現力等」の各領域において、学習過程が明確にわかるように示しました。また、学習過程の中で、自分の考えを形成し、それを他者と共有することを重視しました。 【読書】 ◆ 読書に対する意欲を高め、読書生活を広げようというように、多様なジャンルの作品・文章、読書活動、読書案内、コラムを位置づけました。 ◆ 「読むこと」教材の末尾には、学習に関連する本を表紙写真とともに提示しました。紹介する本は、人権教育の観点からも吟味・検討し、選定しました。 【語彙を豊かに】 ◆ 各学年の巻頭に「続けてみよう」を設け、年間を通して語彙を増やしたり、言葉や情報に対する感覚を磨いたりすることを習慣化できるように工夫しています。 ◆ 巻末資料「語彙を豊かに」では、抽象的な概念や、見方や考え方を表す言葉を数多く紹介し、自分の言葉として使えるよう配慮しています。 【言葉の学習】 ◆ 各学年の第3系列には、言葉をテーマにした教材を位置づけ、さまざまな角度から言葉についてじっくり考えられる場を設定しています。 【漢字の習得】 ◆ 漢字学習に関する教材を随所に設け、楽しみながら漢字の知識が身につくようにしています。各学年6か所、「漢字に親しもう」を設け、学んだ漢字の知識やテーマごとに、漢字を集中的に学習し、文や文章の中で使える力となるよう工夫しています。

2. 対照表

[第2学年]

図書の構成・内容	学習指導要領の内容					該当箇所	配当時数
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等					
		A 話すこと・ 聞くこと	B 書くこと	C 読むこと			
	見えないだけ	(1)エ					1
1 広がる 学びへ	アイスプラネット	(1)エ			(1)ア(2)イ	14-25	4
	[聞く]問いを立てながら聞く	(2)ア	(1)ア・エ(2)ア			26	1
	季節のしおり 春	(1)エ				27	—
	枕草子	(3)イ		(1)ア(2)ウ	(1)オ(2)イ	28-31	3
	情報整理のレッスン 思考の視覚化	(2)イ				32-33	1
	多様な方法で情報を集めよう	(2)イ		(1)ア(2)ア		34-37	5
	漢字1 熟語の構成	(1)ウ				38-39	1
	漢字に親しもう1	(1)ウ			40		
2 多様な 視点から	クマゼミ増加の原因を探る	(1)オ			(1)ア・ウ(2)ア	42-51	4
	思考のレッスン1 具体と抽象	(2)ア				52-53	1
	魅力的な提案をしよう	(1)ア	(1)イ・ウ(2)ア			54-57	5
	漢字に親しもう2	(1)ウ				58	1
	文法への扉1 単語をどう分ける?	(1)オ				59	2
情報社会を 生きる	メディアを比べよう/ メディアの特徴を生かして情報を集めよう/ 「自分で考える時間」をもとう	(2)イ		(1)ア(2)ア	(1)エ(2)ウ	60-66	3
3 言葉と 向き合う	短歌に親しむ	(1)エ		(1)ウ(2)ウ	(1)オ(2)イ	68-71	4
	短歌を味わう	(1)エ			(1)エ(2)イ	72-73	
	言葉の力	(3)エ			(1)オ(2)イ	74-77	
	言葉1 類義語・対義語・多義語	(1)エ				78-79	
	言葉を比べよう	(1)エ				80-81	
読書生活を 豊かに	読書を楽しむ	(3)エ				82-83	1
	翻訳作品を読み比べよう 星の王子さま	(3)エ			(1)エ・オ(2)イ・ウ	84-85	
	読書コラム 「わからない」は人生の宝物	(3)エ				86	
	読書案内 本の世界を広げよう	(3)エ				87-89	
	季節のしおり 夏	(1)エ				90	—
4 人間の きずな	盆土産	(1)エ			(1)イ(2)イ	92-105	4
	字のない葉書	(3)エ			(1)エ(2)イ	106-111	3
	聞き上手になろう	(1)ア	(1)エ(2)ア			112-113	1
	表現を工夫して書こう	(1)ア・カ		(1)ウ(2)イ		114-115	3
	[推敲]表現の効果を考える	(1)カ		(1)エ(2)イ		116	1
	言葉2 敬語	(1)カ				117-119	1
	漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字	(1)ウ				120-121	
	漢字に親しもう3	(1)ウ				122	1
5 論理を 捉えて	モアイは語る—地球の未来	(2)ア			(1)エ・オ(2)ア	124-131	4
	思考のレッスン2 根拠の吟味	(2)ア				132-133	1
	根拠の適切さを考えて書こう	(2)ア		(1)ウ(2)ア		134-137	4
	漢字に親しもう4	(1)ウ				138	1
	[討論]異なる立場から考える	(2)ア	(1)オ(2)イ			139	1
	立場を尊重して話し合おう	(2)ア	(1)ア・オ(2)イ			140-143	4
	音読を楽しもう 月夜の浜辺	(1)エ			(1)エ	144-145	1
季節のしおり 秋	(1)エ				146	—	
6 いにしへの 心を訪ねる	源氏と平家	(3)イ				148-149	
	音読を楽しもう 平家物語	(3)ア				150	1
	扇の的—「平家物語」から	(3)ア・イ			(1)イ(2)イ	151-157	3
	仁和寺にある法師—「徒然草」から	(3)ア・イ		(1)イ(2)ア	(1)オ(2)イ	158-161	3
	漢詩の風景	(3)ア			(1)オ(2)イ	162-168	3
7 価値を語る	君は「最後の晩餐」を知っているか	(2)ア			(1)エ(2)ア	170-179	4
	「最後の晩餐」の新しさ	(2)イ			(1)エ(2)ア	180-183	
	魅力を効果的に伝えよう	(1)エ		(1)ウ・オ(2)ア		184-185	
	漢字に親しもう5	(1)ウ				186	
	文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。	(1)オ				187	
読書に親しむ	研究の現場によるこそ 日本に野生のソウやサイがいた頃/ クモの糸でバイオリン	(3)エ			(1)オ(2)ア・ウ	188-190	1
	読書案内 本の世界を広げよう	(3)エ				191-193	
	季節のしおり 冬	(1)エ				194	—
8 表現を 見つめる	走れメロス	(1)エ		(1)ウ(2)ア	(1)イ・オ(2)イ	196-213	6
	漢字に親しもう6	(1)ウ				214	1
	文法への扉3 一字違いで大違い	(1)オ				215	2
	構成や展開を工夫して書こう	(1)オ		(1)イ・オ(2)ウ		216-219	4
	言葉3 話し言葉と書き言葉	(1)イ				220-221	2
	漢字3 送り仮名	(1)ウ				222-223	2
	国語の学びを振り返ろう	(1)オ(2)イ	(1)オ(2)イ	(1)イ・エ(2)ア		224-227	5
	木	(1)エ			(1)オ(2)イ	228-230	2
文法・ 漢字・ 振り返り	文法 一年生の復習						
	文法1 自立語	(1)オ				232-250	
	文法2 用言の活用 文法3 付属語						
	[練習]小学校六年生で学習した漢字 小学校六年生で学習した漢字一覧	(1)ウ				251-255	
	学習を振り返ろう	(1)ア・カ(2)ア	(1)イ・エ(2)ア	(1)ウ・エ(2)イ	(1)ア・エ(2)イ	256-258	3
						合計時数	120